

## CLUSTERPRO/Windows Server Failover Clustering 環境での補足

Windows Server にて Standard Program Package を適用する場合、ネットワークコントローラーや Fibre Channel コントローラーに接続したストレージとの通信が一時的に途切れることがあります。

CLUSTERPRO、Windows Server Failover Clustering (WSFC)を使用している環境で Standard Program Package を適用する場合は、本書を参考にして適用してください。

### 1. CLUSTERPRO 環境

1. Standard Program Package を適用するサーバー（以下、対象サーバー）でグループが動作している場合は、他のサーバーに移動します。
2. 対象サーバーの CLUSTERPRO Server サービスを手動起動に変更します。
3. 対象サーバーを再起動します。
4. 対象サーバーに Standard Program Package を適用後、再起動します。
5. 対象サーバーの CLUSTERPRO Server サービスを自動起動に戻し、対象サーバーを再起動します。
6. クラスターの [プロパティ] で [自動復帰] を [しない] に設定している場合、Web Manager で対象サーバーを右クリックし [復帰] を選択します。
7. 必要に応じて、グループを移動します。

## 2. WSFC 環境

1. Standard Program Package を適用するサーバー（以下、対象サーバー）が所有する下記のクラスターリソースを他のサーバーへ移動します。

注）移動しないまま Cluster Service サービスを停止すると、フェールオーバーが発生して一時的にクラスターリソースが停止する場合があります。

- ・クラスターコアリソース
- ・クラスターの共有ボリューム
- ・役割

2. 対象サーバーの Cluster Service サービスのスタートアップの種類を [手動] に変更し、サービスを [停止] します。

\*\*\*\*\* メンテナンス作業開始 \*\*\*\*\*

3. 対象サーバーに Standard Program Package を適用後、リブートします。

\*\*\*\*\* メンテナンス作業終了 \*\*\*\*\*

4. 対象サーバーの Cluster Service サービスのスタートアップの種類を [自動] に変更し、サービスを [開始] します。

5. (下記の場合にのみ実施します)

フェールオーバー クラスター マネージャー画面上、対象サーバ（ノード）の状態が「検疫」状態の場合：

「検疫」状態を解消して「稼働中」状態へ復帰したい場合は、以下の手順を実施します。  
(すぐに状態を解消する必要が無ければ、手順 6 へ進みます)

注）・「稼働中」状態への復帰には、数分程度の時間を要する場合があります。

- ・「検疫」状態になった原因が取り除かれていない場合、下記の手順を実施しても「稼働中」状態に復帰できない場合があります。

5-1. 管理者権限で PowerShell コマンドプロンプトを開きます。

5-2. クラスターを構成する任意のノードから、次のコマンドを実行します。

Start-ClusterNode -ClearQuarantine "サーバー（ノード）名"

5-3. フェールオーバー クラスター マネージャー画面にて、対象サーバー（ノード）の状態が[稼働中]になるまで待ちます。

6. フェールオーバークラスターマネージャーからクラスターの検証を実行し、検証レポートの結果欄に失敗が出力されていないことを確認します。

7. 必要に応じて、各クラスターリソースを対象サーバーへ移動します。

- ・クラスターコアリソース
- ・クラスターの共有ボリューム
- ・役割